

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:[www.hokjioka.net](http://www.hokjioka.net) E-mail: [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

定価:250円、年額:3,000円(送料込)  
\*会員は会費(支援金)を含む



## 《写真説明》

12/20:教育大実習4日目  
～クリスマス企画はオリジナル  
ケーキ4種+ロールデコ、各  
人工作ニッソーを3段装飾  
シライトアップ、後は泊り会～

## INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンイラスト/  
普及活動、会費納入他
- p3: スタッフメッセージ/各頁
- p4-5: 釧路教育大授業
- p6-7: ↓行事、子ども館
- p8: 時事、スケジュール他

## 「今を耕し、未来に繋げる」

NPO法人・理事長 吉野 正敏

世界大戦後68年、阪神淡路震災後18年、東北大震災後3年目となる2013年を迎えます。人類が侵略・破壊的兵器で殺戮あった歴史、それを教訓に復興をなしとげた今日の社会の到達点を改めて吟味せねばならないようです。愛国防衛をお題目とする戦争を繰り返してはならないと「国際平和を希求」し、国民主権＝「主権在民と基本的人権」を柱とする日本憲法は、決して古ぼけた遺産ではありません。加えて、人類史上に残る被暴国であり(3度目の)大規模原発事故の発生国として、環境保全と未来持続型エネルギーの転換を推進する大きな役割が求められていると考えます。

現実には、過酷な市場主義下での労働者の1/3が非正規雇用、展望が見えにくい中で増税等の一方的国民負担、いまだ避難者16万人の福島エリアなどが大問題の一方で、弱者を追い込む自己責任論(すりかえ)や偏狭敵対的なナショナリズム(居直り～軍事力では本当の国土防衛にならない)が、政界・一部言論界に跋扈しています。これらは正に大人・政治のテーマですが、地域・国民の声を反映するはずの選挙制度の非民主制を含めこの社会の仕組みのあり方として改善改革を図らねばなりません。

これらの地域的～地球的な課題を担い、次世代を育てるテーマ＝教育も大きな分岐点にあります。競争原理に拠るのではなく、一人ひとりの可能性を保障しながら、自分と仲間的人間的成長を育むような学び舎づくりは、決して北欧諸国や少数私学に留まるものではありません。

『自由が丘』が1986年に新しい教育理念を掲げ、98年夕張スクールを開校して今年15年目となります。子ども・若者達が主体的に学び、自立・創造力を培うこと＝“自由と協同”を、表現科・地球に生きる科・人間科・やってみる科・農業実習などの体験総合的学習やオープンスクール型運営を柱に持続しています。生きるのが難しい社会、視界の見えにくい時代の中で、灯台か羅針盤(星)の一つのように輝き頼られる存在になっていける事を抱負として、新年のご挨拶と致します。